

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公表番号】特表2020-503389(P2020-503389A)

【公表日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【年通号数】公開・登録公報2020-004

【出願番号】特願2019-556557(P2019-556557)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/785 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/785

A 6 1 K 31/045

A 6 1 P 17/00 1 0 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月25日(2020.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面を第1の液体組成物と接触させることと、

次いで、前記第1の液体組成物の少なくとも一部が前記表面に留まっている間に、第2の液体組成物が充填されたカチオン性コーティングを施した物品と前記表面を接触させることと、を含み、前記第1の組成物又は前記第2の組成物のうちの少なくとも1つ及び1つのみが、60重量%以上の少なくとも1つのアルコールを含む、方法。

【請求項2】

前記表面を前記第1の組成物と接触させる工程が、前記表面への噴霧、分注、浸漬、注液、又はこれらのいくつかの組み合わせにより、前記組成物を前記表面に適用することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

第2の組成物が充填された前記カチオン性コーティングを施した物品に前記表面を接触させる前に、前記第1の組成物と接触している前記表面を機械的作用に供することを更に含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記カチオン性コーティングを施した物品が、カチオン性コーティングを施した拭き取り布を含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記カチオン性コーティングを施した物品が、グアニジニル含有ポリマーを含む、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記グアニジニル含有ポリマーが、(a)グアニル化剤と、(b)カルボニル含有ポリマー前駆体又はアミノ含有ポリマー前駆体との反応生成物である、請求項5に記載の方法

◦